

# くみみ くにみ

NO.455

平成23年6月

2011.

6



## 虫歯にならないように

森江野幼稚園では6月3日、虫歯予防デー（6月4日）にちなみ「むしばよぼうしゅうかい」を開きました。園児たちは、保健の先生による歯みがきのお手本を見ながら、虫歯にならないよう、いっしょうけんめいに口の中で歯ブラシを動かしていました。

## ◆ 今月のおもな内容 ◆

- 特集 今、「放射能」を考えるととき ..... 2
- 全国から寄せられたいっばいの支援 ..... 10
- まちのわだい ..... 18
- 保健だより ..... 20
- くらしの情報 ..... 22
- 生涯学習つうしん ..... 24

# 第1章 放射能のことを知る

放射能が人体に及ぼす影響がどのようなものか。国が提供している資料をもとにまとめました。そして専門家にインタビューしました。

**生活の中心となった言葉 — 放射能 —**

原子力発電所の事故により放出され続けた放射性物質。テレビや新聞では、毎日のように放射能問題が取り上げられています。放射線量を示す単位である「シーベルト」についても、すっかりおなじみとなりました。原発事故発生以来、町では防災無線や災害情報で放射線量を伝えてきました。最近では、個人で放射線測定器を購入する方も出てきました。

なぜ、放射線量に多くの人々が関心を寄せるのでしょうか。それは、放射線を受ける（被ばくする）と人体は何かの影響を受けるとされているからです。人体が受ける影響は、「身体的影響」と「遺伝的影響」の2つに大別（用語解説を参照）されます。また、広島・長崎の原爆の被害が語り継がれている日本では、「被ばく」という言葉に非常に敏感になっているのも事実です。

放射能という言葉は、今、日々の生活の中心となっています。炊事や洗濯、外出する時の服装、窓の開閉など、日常の行動の中で、放射能という言葉が気になる機会が増えてきているのが現状です。

**微量でも通常より高い放射線量率**

今回の原発事故では、世界的な基準で「レベル7」と最悪の評価を受けています。世界的に最悪の評価を受けている理由を考えてみると、原発から放出された放射性物質が相当多い量であることが大きな理由です。日常生活では、あまり実感できませんが、国見町の1時間あたりの放射線量率（6月上旬の国見町役場観測数値）は、0.6マイクロシーベルト/時前後となっています。平常時の値（0.04マイクロシーベルト/時）と比べると1時間あたりで15倍の量となっています。これが私たちが

## 用語解説①

- 放射能・放射線・放射性物質  
放射線を出す能力を放射能といい、放射能をもっている原子を含む物質を放射性物質という。電灯に例えると電灯が放射性物質、電灯から出る光が放射線、光る能力が放射能になる。
- 外部被ばく  
放射線を体の外から受けること。レントゲン撮影のX線や自然界からの放射線により日常的に外部被ばくしている。
- 内部被ばく  
身体に取り込んだ放射性物質に起因する特定臓器・組織の被ばくのこと。
- 身体的影響  
白血球の減少や脱毛などのように急性のものと白内障や放射性誘発がんのように晩発性のものがある。
- 遺伝的影響  
被ばくした人の子孫に現れる影響。これまで、広島・長崎の被ばく者の二世について調査されているが、現在のところ影響は確認されていない。

とりまく現実です。平常時の15倍の量と聞き、驚く人がいると思われませんが、0.6マイクロシーベルト/時という値は、微量でありただちに人体に影響が出るとはされていませんが、受ける放射線の量を少しでも少なくする努力をすることが、大切と言われております。また被ばくには、「外部被ばく」と「内部被ばく」があります。外部被ばくについては、外部被ばく防護の三原則（4ページに用語解説）によりある程度防ぐことができます。一方で、問題なのが内部被ばくです。呼吸や飲食などにより体内に取り込まれた放射性物質は、体内で放射線を出し、内部被ばくします。セシウム137の場合は、70日で大小便として排せつされ半減します。内部被ばくを防ぐために、摂取制限が出されている食品を食べない、放射性物質が多く付着されているとする地表面近くの空気を吸い込まないなど出来る限りの対策が必要です。



今、特集「放射能」を  
考え直すとき

東日本大震災発生からの復興に向かって進む中、福島県にとって特有の問題が大きくなってきました。福島第一原子力発電所の事故による放射能汚染の問題。一日も早い事故収束に向けて、現場では懸命な作業が続けられ、世界中の人々が注目を寄せています。

一方で私たちの生活をみると、福島第一原子力発電所からは、大量の放射性物質が大気中に放出されました。事故発生直後の専門家による見解では、「ただちに影響が出るレベルではない」というものでしたが、国見の地でもこれまで3カ月の間、通常に比べ高い値の放射線量が計測されました。

福島県に原子力発電所があることは分かっていますが、離れた場所「浜通り」の問題として、放射能についてあまり関心を持たなかったという方がほとんどでないでしょうか。しかし、安心して暮らせる毎日のために、放射能について考えるときではないでしょうか。

# インタビュー

放射能問題について、公立藤田総合病院の協力を得て放射線を専門とする福島県立医科大学の長谷川医師にインタビューしました。

## 原発事故による放射能問題について

一般的に何が起こるか分からないので、怖がっているのではないかと思います。今よく出される年間被ばく量の上限20ミリシーベルトトという数値については、今後見直しをして下げていくと思います。今後50年間20ミリシーベルトでやるという事は無いと思います。少ないにこしたことはありませんが、今は考えられる上限が20ミリシーベルトということですので。このことから、今日、明日中に何とかしなければならぬというふうなナীবラスになる必要はありません。もう一点、甲状腺がんを

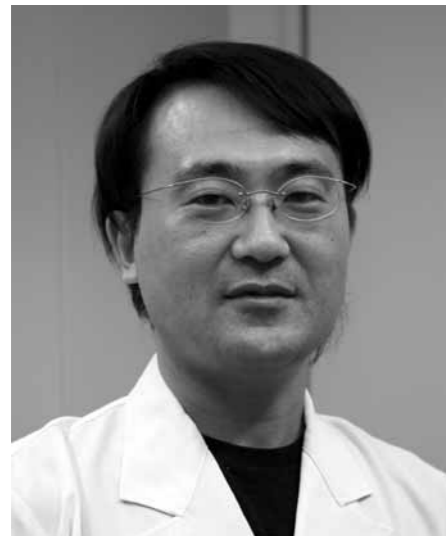
## ●人体が受ける放射線量●

放射線量	放射線量の説明
100.00	健康に影響があると証明されている放射線量の最低値
20.00	文部科学省が示した年間被ばく量の上限
6.90	CTスキャン
3.75	日本で1年間に受ける放射線量 (内訳) 宇宙線から 0.29 大地から 0.38 空気中のラドンなどの吸入から 0.59 自分の体内から 0.22 医療から 2.25 その他 0.02
1.00	一般公衆の線量限度 (医療被ばく除く)
0.60	胃のX線検査
0.19	東京～ニューヨークを航空機で往復
0.05	胸のX線検査

※放射線量の単位：ミリシーベルト  
※1ミリシーベルト=1000マイクロシーベルト

## すぐに何かが起こるとは考えられない 落ち着いて行動することが一番

また、放射線は自分の体からも出ています。体自体が自然界の構成要素であり、体の中に放射線を出す物質を持っていきます。これは、一生浴び続けることになりません。放射線は、体に全く無いものでなく、常にあるもので生物は多少の放射線には耐えることが出来るものです。今はその放射線が少し増えている状況ということですが、あくまでも「ゼ



福島県立医科大学放射線科  
おさむ 長谷川 靖 医師

## 知ってもらいたいこと

医療現場では、たとえばCTなどを何回も行うと、何十ミリシーベルトもの放射線を浴びることになります。日本では医療被ばくの方が多いためです。病院では多くの放射線を浴びていますが、今特に問題が起きてくることはありません。よく頭をぶつけてしまつて、CTをとってほしいと

## 子どもと放射線

子どもは、大人に比べると放射線感受性が高いとされています。大人に比べ同じ放射線を浴びても影響が強く出るとされています。また、子どもは大人に比べ期待される寿命が長いので、将来放射線から受ける影響が高くなります。子どもの場合は、大人に比べるともう少しシビアに考えた方がよいと思います。

## 今の状態がしばらく続いた場合

今浴びている放射線量は大丈夫かという事は、厳密には難しいものです。人類が過去にこのような原発事故で低いレベルの放射線量を長期間浴びたことがありません。被ばくについては、広島・長崎の原爆によるデータはありますが、この場合は、瞬間的に大量に浴びたものであり、今回のもので違うものです。ま

## 用語解説②

外部被ばく防護の三原則  
外部被ばくを防ぐものとして、①放射線源から距離をとる、②放射線を遮へいする、③放射線にさらされる時間を短くする、以上の3つの原則を適切に組み合わせることで外部被ばくの防護となる。

### 甲状腺がん

甲状腺は、ヨウ素を含む甲状腺ホルモンを分泌して、新陳代謝や成長・発育を促進する重要な内分泌器官である。甲状腺がんは、高齢者では、潜在がんとして存在している。甲状腺は、放射線に対して感受性が高く、被ばくすると、比較的低い線量から甲状腺がんの増加が見られる。ただし、放射線被ばくと関連した甲状腺がんの致死率は低い。

### ヨウ素剤

原子力施設などから放出される、人体に影響のある放射性物質の一つに放射性ヨウ素(131)がある。この放射性ヨウ素は、呼吸や飲食により体内に入ると、甲状腺に集まりやすいという性質を持っている。一方で、甲状腺は放射性であるうと非放射性であるうと、ヨウ素を一定量しか

## 最後に

原子炉が爆発したものと違って、今の状態が1か月や半年経過して、すぐに何か起きるとは考えられないものです。この間、時間が落ち着いて良く考えて行動した方がよいと思います。突発的に行動するのでなく、良く考えてベスタの行動をしてほしいです。

食べるものを食べても、1日2日で何かが変わるわけがありません。医療被ばくのことを考えてみても同じことです。ある意味、国が見解を示している「ただちに影響はありません」という言葉は本当のことです。今は、いろいろなことを考えて落ち着いて行動することが一番です。

### 放射線感受性

放射線感受性は、狭義には放射線被ばくした場合の「障害の起こりやすさ」、広義にはさまざまな指標に関して、相対的な「効果の現れやすさ」を指す。

個体に関しても、組織や細胞に関しても用いる。遺伝的背景、照射時の環境、放射線の線質、線量率、細胞周期などにより放射線感受性は左右される。

### 【出典】

- 文部科学省原子力安全課 原子力防災ネットワーク環境 防災Nネットホームページ
- 原子力防災基礎用語集、原子力防災Q&A
- 文部科学省ホームページ 学ぼう！放射線と安全確保

# 子どもたちの未来のために



## 放射能が子どもたちにもたらしたもの



学年	1F	2F	3F	校庭(中央)	校庭(両端台)
本日放射線量	0.074	0.061	0.054	0.145	0.118
校庭(中央)	1cm 1.040	1m 0.942			
校庭(両端台)	1cm 1.269	1m 0.903			



1. 県北中学校で毎日表示されている放射線量
2. 室内で遠足の弁当を食べる幼稚園児  
いつもの年であれば青空の日光の下、みんなで楽しく弁当を食べることができた
3. 県北中学校の部活動 屋外での活動にはマスクをつけている

放射能問題で、今、最も課題となっているのが「子どもたちをどう守るのか」ということです。子どもたちの未来のために、教育現場では先生方が懸命に努力しています。そして子どもを持つ親も真剣に考えています。その様子をお伝えします。

### 可能な限り放射線を 受けさせないように

『体育の授業は、長袖長ズボンの体操着で行う。または、体育館の室内で行う。』中学校における屋外での部活動は、1日2時間でマスク着用。暑くても長袖での活動。これが今、国見町の小中学生が学校でおかれている環境です。

年間被ばく量の上限20ミリシーベルトをもとに、文部科学省が示した制限放射線量3・8マイクロシーベルト/時については、現在のところ町内の教育施設では超える数値が計測されていません。しかし、その後の国が示した見解では、学校生活で受ける年間放射線量を1ミリシーベルト以下に抑えるということになりました。そのため、各学校では子どもたちに可能な限り放射線を受けさせないような工夫をしています。「5〜10年後の命のことを考えると、今は可能な限り放射線を受ける量は少ない方がいい」と話してくださいました。

のは、県北中の高橋卓夫校長。放射線から子どもたちを守るため、県北中学校では、PTAの協力を得てベランダの洗浄作業を行うなど、学校内で出来ることに力を入れていきます。幼稚園や保育所では、固定遊具で遊ばせる場合は、事前に洗浄するなどの対応をしています。また、教育委員会では定期的な敷地内の放射線量を測定し、保護者にお知らせするなど、さまざまな努力がされています。

からは、大枝小学校の山内寿一校長は、「家庭と協力し、特に食べ物による内部被ばくに注意させたい」、県北中学校の高橋校長は、「屋外の活動では、放射性物質を含んだ土や砂が口に入るのを防ぐためにも、マスクを着用させています」と話していました。

### 内部被ばくに注意が必要

今、教育現場では、外部被ばく以上に内部被ばくを防ぐ努力がされています。内部被ばくに注意する理由は、地表近くにあって放射線物質は、時間とともに地下に沈んでいきます。これからは、水や食べ物を通して人体に取り込まれる内部被ばくに注意する必要があります。放射性物質が体内で放射線を出し続け、細胞が傷つけられることになる

### 放射能に関する正確な情報がほしい

また、子どもたちを放射線から守るためには、何よりも正確な情報が必要となります。森江野小学校の三浦彰子校長は、「子どもの健康管理のためにも、広い範囲で情報の共有ができれば助かります。放射能に関して何か小さなことでも、情報として事前に知っていれば、子どもに対してすぐに適切な対応ができる」と話していました。未知の部分が多い放射能であるからこそ、子どもを守るためには、正確な情報が必要となります。

### 子どもを育てる

### 親の声

日常生活では、微量でありませんが、放射線を受け続けています。このような環境で子どもが生活していることについて、保護者の方にインタビューしました。



県北中学校PTA会長  
赤井畑 直明さん

放射線を受ける量については、少ない方がよいということは当然のことです。安全な被ばくなどありません。子どもを被ばくさせないために、あらゆる努力が必要であると思います。町に対しては子どものために出来る限りの対応をお願いしたいです。今は、原発事故が発生する前の状態に少しでも近づくことを願っています。



藤田小学校PTA会長  
安藤 雅規さん

PTAとしても、子どもを放射線から守るための要望書を町に提出しました。PTAという組織が何のためにあるのか。何をしなければならないのか。常に考えて行動しています。また、子どもを放射線から守るために、国は費用を惜しまずに使ってほしいと思います。

### 《小さな子を持つ親の声》

- ・町内における各地区の放射線量を知らせてほしい。
- ・放射線に関する講演会を昼間の時間帯にも開いてほしい。
- ・屋外で遊ばせることができない環境を考えると、子どもを遊ばせる場所を提供してほしい。



自然豊かな  
国見の地から  
作りだされる  
**農産物**

今回の問題について国の対応について質問すると、「もう少し、現場に入って生産者の声を聞くなど現地調査を行うことで、どこに問題があるのか見つけることができるはず。放射能による汚染のことも、きめ細かく調査することで広い範囲での出荷停止などを避けることができる」と詳細な対応を求めています。そして、「今回の災害においては、既存の法律だけでは対応が進まない部分も多くあると思われる。特例法

**現場で生産者の声を聞いてほしい**

さんは、「何よりも原発事故が早く収束してもらいたい。風評被害を受けた場合の国の補償問題については、通常の年と同様の収入が得られるようにJAや町の力を借りて取り組んでいきたい。また、被害を受けたあらゆる業界の人々が一緒になって取り組むことも一つであると思う」と現在の考えを話してくださいました。

自然豊かな国見の地に迫ってきた放射能問題。農業委員が集まる会議でも大きな話題となっていました。「風評被害については、われわれが努力して頑張っていないとダメ」「作っても売れないという考えではダメ」というもので、みんなで積極的に頑張っていこうという内容でした。国見の基幹産業である農業が放射能問題乗り越えるために必要なこと。それは、科学的根拠に基づき、みんなが協力して、生産者と生産者を支える人々、それぞれが自分の持つ分野で努力し、その成果を共有し合うことです。生産者にとつては、消費者においしいものを届けようという気持ちそのものが頑張っている証しです。

**今、みんなが頑張るとき**

などを作って復興に向けて迅速に対応してほしい」とも話してくださいました。

放射能をめぐる、社会ではさまざまな問題が起きています。その中から、注目されている放射能から子どもを守ることに農業の問題について取り上げてきました。取材で出会った人々には、安全を求め人一倍放射能について正しい情報入手し、適切な対応をとろうとしている様子が見られました。これから私たちは、放射能と向き合って生きていくこととなります。放射能は、特定の人だけでなく全ての人々に関わってきます。「危険になれば、誰かが教えてくれる」というものはありません。一人一人が自分で正しい情報入手し適切な行動をとることが求められています。そしてこのことが、放射能から子どもを守ることや農業が抱える問題を社会全体で支えていくこととなります。

**放射能と向き合って生きていく**

放射能をめぐる、社会ではさまざまな問題が起きています。その中から、注目されている放射能から子どもを守ることに農業の問題について取り上げてきました。取材で出会った人々には、安全を求め人一倍放射能について正しい情報入手し、適切な対応をとろうとしている様子が見られました。これから私たちは、放射能と向き合って生きていくこととなります。放射能は、特定の人だけでなく全ての人々に関わってきます。「危険になれば、誰かが教えてくれる」というものはありません。一人一人が自分で正しい情報入手し適切な行動をとることが求められています。そしてこのことが、放射能から子どもを守ることや農業が抱える問題を社会全体で支えていくこととなります。

第3章

コシヒカリとくだもの里を支える生産者の思い



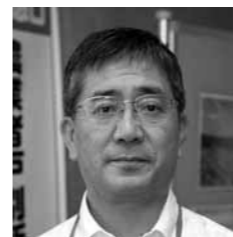
桃の実の敵果作業をする村上さん

原発事故を受けて、農業を取り巻く環境では風評被害が心配されています。風評被害をどう乗り越えるか。国見の特産品を栽培している生産者の声と農業を支える専門家からのアドバイスを紹介し、この問題乗り越えるポイントに迫りました。

**「国見産」と大きく表示してPR**

「放射能問題を考えた時、国見町における放射線量は低い。きちんと作物を育て、国見の現状(安全性)をアピールしていくことが大切であると思う。また、風評被害については、福島ということで全て同じく扱われないようするため、『国見産』ということを大きく表示してPRしていきたい。原子力発電所の事故による放射能問題は、未知の世界のもの。しかし、安全性の基準に従ってきちんとやっていけば、恐れる必要はない」町の特産品である米、桃、あんぼ柿を中心に農業を営む村上正勝さん(第9町内会)は、原発事故による放射能問題について、現実を受け止めた上で風評被害に負けない強い意思を見せてくださいました。また、原発事故に対する補償問題は、今後生産者が生活していく上で重要な問題となってきました。村上

**科学的情報を消費者に対して分かりやすく伝えること**



福島県農林事務所伊達農業普及所 丹治 芳廣 所長

放射能問題については分かりにくい、様々な情報が飛び交っています。科学的に実証されている情報をきちんととらえて行動してほしいです。福島県でも、状況に応じて科学的根拠に基づき、その地域にあった農業技術情報を出していくので参考にしてほしいです。風評被害対策については、科学的情報を消費者に対していかに分かりやすく伝えるかがポイントです。消費者は情報が少なく不信感を持ちやすいため、農産物を購入してもらうためには、正確な情報を分かりやすく伝えることが大切となります。福島県としても、モニタリング調査に全力で取り組むなど、さまざまな形で農家の皆さんを支援していきます。



奥村市長と握手を交わす佐藤町長

### 災害見舞に来町 長崎県雲仙市 復興の手助けをしたい

島原半島にある雲仙普賢岳は、平成3年6月に噴火による大規模な火砕流が発生しました。この当時、旧長崎県国見町では火山灰による被害が大きく、当国見町からも見舞金を届けていました。今回の東日本大震災により福島県国見町も大きな被害があったことを知った雲仙市の人々は、町の復興を願って多額の見舞金を寄せてくださいました。

また、町を訪れた奥村市長は、基幹産業である農業の風評被害について心配し、「復興のために、お手伝いできることがあれば申したい」と佐藤力町長に話をしてくださりました。

長崎県雲仙市は、かつて同じ「国見町」という町名が縁で交流していた長崎県国見町が合併してできた長崎県島原半島に位置する人口約4万8千人の市です。この雲仙市から、5月中旬に奥村慎太郎市長と議会関係者がそれぞれ町を訪れ、町社会福祉協議会、ライオンズクラブに多額の見舞金を届けてくれました。

### 災害復旧支援 千葉県柏市 住宅や物置などの被害認定作業

千葉県柏市（東京から車で30分ほどの距離にある人口約40万人の市）から、災害復旧支援のために建築技師の永野衛さんが国見町の復旧支援に来ました。

#### インタビュー

東日本大震災の被害は沿岸部ばかりが話題になるけど、国見町のように内陸部でも地震そのものによる被害が大きいことを知りました。今回の派遣は、自分の希望で来ましたが、国見町は山がすぐ近くにあり景色が良いところですよ。また、親切な人が多いことを感じました。



千葉県柏市 都市部建築指導課 建築技師 永野衛 さん

# —東日本大震災— 全国から寄せられた いっぱいの支援

### 毎年町でコンサートをしている沢木順さん 全国のファンからの義援金



コンサート会場に置かれた義援金箱

国見町でのコンサートが恒例となっていた沢木順さんは、東日本大震災により大きな被害を受けた国見町に対する義援金の支援をコンサート会場でファンに呼びかけました。この結果、コンサート会場を訪れた全国の人々から多くの義援金が見舞町に寄せられました。また、沢木さんからは、9月頃に国見町で復興支援コンサートを開催したいという話をいただきました。

今年の仁平のコンサートは、いつも以上に、福島県、国見町の応援、ありがとうございます。国見町へは、5年間、お世話になってきました。いつも応援の応援、ありがとうございます。楽しい楽しいコンサートでした。ありがとうございました。そして、お返ししたいという思いが一杯です。恒例のコンサートから始まり、毎日義援金をいただいたりありがとうございます。直接、送らせていただいたり、こちらの方の御支援、感謝の気持ち一杯です。今後とも、よろしくお願いいたします。沢木 順

沢木さんが発信したメッセージ



栗山町からの応援職員の方々

### 災害復興支援 北海道栗山町 被災した人々の訪問健康相談



北海道栗山町（札幌市の東、車で約1時間の距離に位置する人口約1万3千人の町。なだらかな丘陵地帯が続く、東は夕張市と接している）から、保健師4名とサポート職員4名が交代で国見町の復興支援に来ました。5月15日から6月4日までの3週間にわたり、被災した世帯の訪問健康相談や指導を行いました。代表して、小野司室長に国見町に派遣されるようになった理由などを聞きました。

北海道は地震が多いため、日頃から防災意識が高い市町村が多いです。今回の震災で栗山町としては、保健師が活動する形で被災した市町村を支援することになりました。全国町村会の紹介により、国見町に来ました。町の皆さんが自分たちをあたたく受け入れてくれて活動しやすかったです。自分たちも皆さんから元気もらいました。1日も早い復興を願っています。

# —農産物に関する放射能情報—

## ■農地における空間放射線量率と放射性セシウムの値

測定箇所	栽培作物	空間放射線量率 単位：マイクロシーベルト/時				放射性セシウム 単位：ベクレル/kg セシウム 134 + 137 を合わせた値
		5/25	6/1	6/8	6/15	
小坂	リンゴ	1.72	1.97	1.72	1.53	
小坂	モモ	1.34	1.47	1.47	1.41	
藤田	プラム	1.22	0.90	1.09	0.78	
藤田	キュウリ	0.71	1.15	0.46	1.22	
藤田	モモ	1.22	1.09	1.34	1.03	
大木戸	サクランボ	1.03	0.97	0.78	0.52	6/2 (果実) 68
大木戸	リンゴ	1.03	0.84	0.91	1.03	
大枝	カキ	0.84	0.65	0.90	0.46	
大木戸	モモ	0.78	0.59	0.52	0.59	
大枝	モモ	0.90	0.46	1.09	0.90	
森江野	モモ	1.03	1.03	1.15	1.03	
森江野	モモ	1.47	1.09	1.15	1.22	

※測定箇所の位置図は、国見町ホームページまたは、災害（復興）情報第12号をご覧ください。

### ●暫定規制値

核種	食品衛生法の規定に基づく食品中の放射性物質に関する暫定規制値 (ベクレル/kg)	
放射性ヨウ素	飲料水(注)	300
	牛乳・乳製品(注)	
	野菜類(根菜、芋類除く) 魚介類	
放射性セシウム	飲料水	200
	牛乳・乳製品	
	野菜類	
	穀類 肉・卵・魚	

注：乳幼児については、100ベクレル/kgとされています。

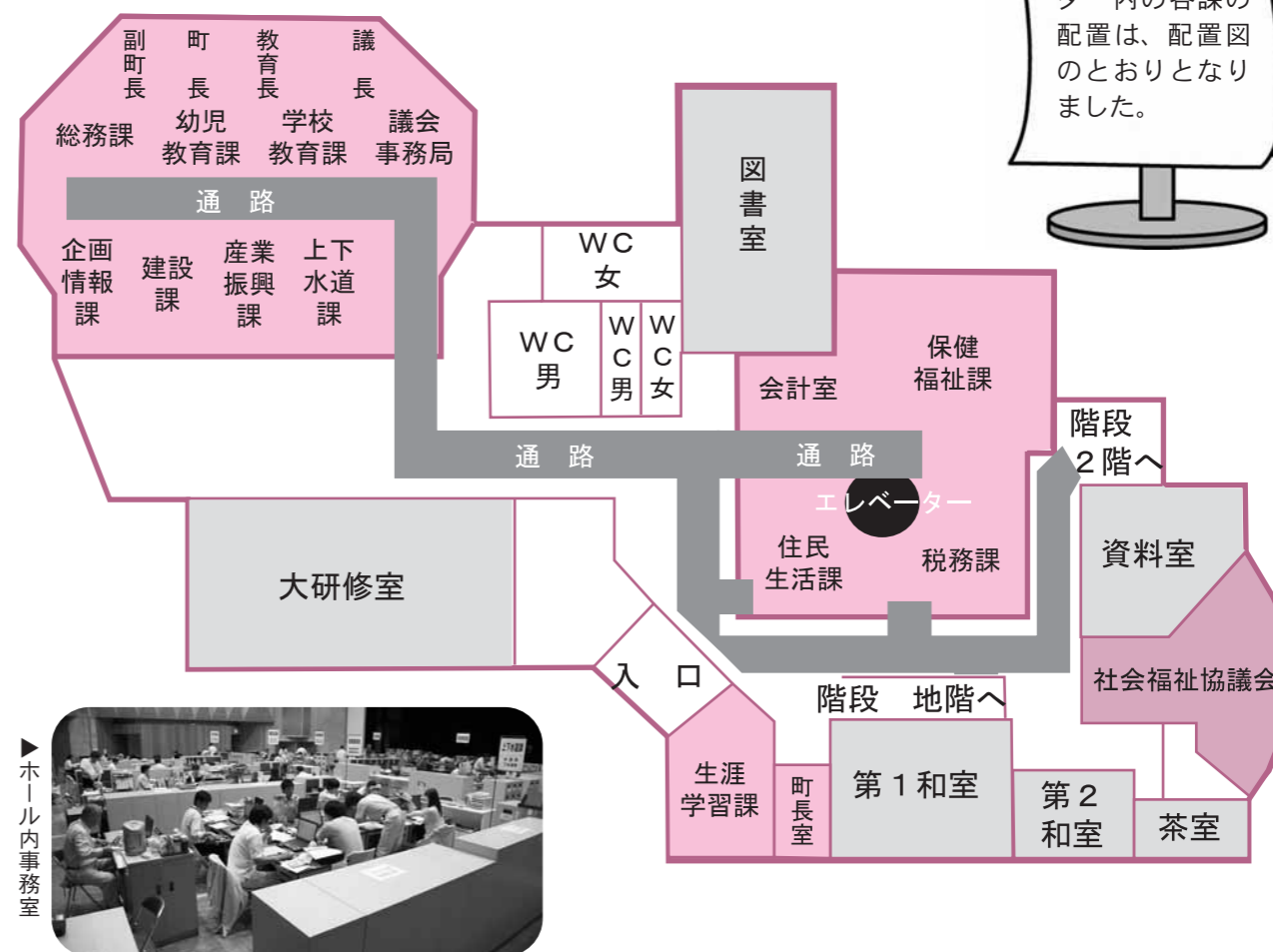
### ●6月15日現在

国見町で栽培されているもので摂取や出荷を控えるよう要請されている品目

#### 摂取・出荷制限

- ・非結球性葉菜類 (ハウレンソウ、コマツナ、カブレ菜、サニーレタスなど)
- ・出荷制限
- ・たけのこ

## 観月台文化センター内 国見町役場仮庁舎 各課配置図



6月6日から、観月台文化センター内の各課の配置は、配置図のとおりとなりました。

# —東日本大震災— 復興に関する情報

## 医療機関での受診

被災者の方が医療機関で受診される場合の取扱いが7月1日から次のようになります。

一部負担金等が猶予されるための条件

- 1 医療機関で保険診療を受ける際には、窓口で保険証の提示が必要になります。次の内容に該当し、医療機関等の窓口において一部負担金等の支払いが猶予されている方については、「医療費の一部負担金等の免除証明書」の提示が必要となります。該当される方は、加入している健康保険証の発行機関に免除証明書の交付を申請してください。なお、免除となる期間は、平成24年2月29日までです。
  - 2 問い合わせ  
保健福祉課国保係  
☎585-2785
- 被災救助法や被災者生活再建支援法の適用地域の住民で(国見町は該当)次のいずれかに該当する方
- 住家の全半壊、全半焼またはこれに準ずる被災をした方
  - 主たる生計維持者が死亡し、または重篤な傷病を負った方
  - 主たる生計維持者の行方が不明である方
  - 主たる生計維持者が業務を廃止・休止した方
  - 主たる生計維持者が失職し、現在収入がない方

## 災害復興住宅融資

- 建設・購入資金融資  
住宅が「全壊」、「大規模半壊」または「半壊」した旨の「り災証明書」を受けた方が新築や購入をする場合に融資を利用できます。
- 補修資金融資  
住宅に10万円以上の被害を受け、「り災証明書」を受けた方が、自宅を補修する場合に融資を利用できます。
- ◆ 問い合わせ  
住宅金融支援機構(災害専用ダイヤル) 祝日を除く9時から17時  
☎0120-086-353

## 農産物の補償請求手続

- 建設・購入資金融資  
JA以外に農産物を請求している方を対象に、原発事故に関する補償請求手続きの説明会を開催します。
- ▼日時 6月29日(水) 午後1時30分
- ◆ 問い合わせ  
JA伊達みらい国見営業センター  
☎585-2660
- 産業振興課産業振興係  
☎585-2986

## 就職・生活支援相談窓口

- 福島県では、生活資金や住居確保の相談、公共職業訓練の情報提供などの生活支援を行っています。
- ▼生活支援 ふくしま求職者総合支援センター福島窓口  
☎525-2510(水・日・祝日を除く10時~19時)
- 県内企業への就職相談  
ふるさと福島就職情報センター福島窓口  
☎525-0047(日・祝日を除く10時~19時)





# 防塁に見つかった大きなずれ

## 阿津賀志山防塁第9次発掘調査

町教育委員会による阿津賀志山防塁第9次調査の現地説明会が5月28日、大木戸赤穂地区で町民ほか県内外から80名が参加し開催されました。現地説明会では、佐藤力町長が「国の史跡として防塁の調査は重要な意味を持っていきます」とあいさつをし、調査担当職員が調査の概要について解説しました。

赤穂地区は、防塁の位置が未確定で、構造（土塁・堀の本数、構築方法）も不明な地区であったため、4月27日から6月3日にかけて調査を実施しました。調査の結果、防塁は赤穂地区の西側を流れる滑川により形成された3段の河岸段丘上に築かれ、斜面を利用した土塁2本とこれに挟まれた堀（幅6m以上）1本であると確認できました。この構造は、南東側に続く防



今回の調査成果より作成した防塁復元図（転載不可）

（高橋地区）とよく似ています。一方、北西側の防塁位置（大久保地区）とは、いずれのことでも分かりました。今まで一続きであると想定された防塁に、切れ目や大きく屈曲する箇所が存在する

可能性が出てきました。このずれが何を意味するのでしょうか。今後も調査を深める必要があります。今後も阿津賀志山防塁の全容解明に向けて調査を続けていきます。



発掘調査現地説明会の様子

### 国史跡「阿津賀志山防塁」周辺を整備

阿津賀志山防塁整備計画策定委員会が5月26日、観月台文化センターで開かれ、防塁を生かした周辺の整備計画について話し合いがされました。会議では、当面平成30年度を目標に防塁の復元や資料室の設置を目指すこととし、平成25年度までに全体計画を策定することを確認しました。今後、どのような方法で史跡の整備を進めるか、学識経験者の委員とともに検討していきます。

## 藤田駐在所に着任

しました

5月18日付で、藤田駐在所に新しい2名の警察官が着任しました。国見町の安全と安心を守る2名の方を紹介します。



福島北警察署 藤田駐在所班長 小野寺洋佑 警部補

宮城県出身、前任は、福島警察署清水交番勤務。初めての駐在所勤務で右も左もわからないことばかりですが、1日も早く町民の皆様の安全・安心に貢献していきたいです。

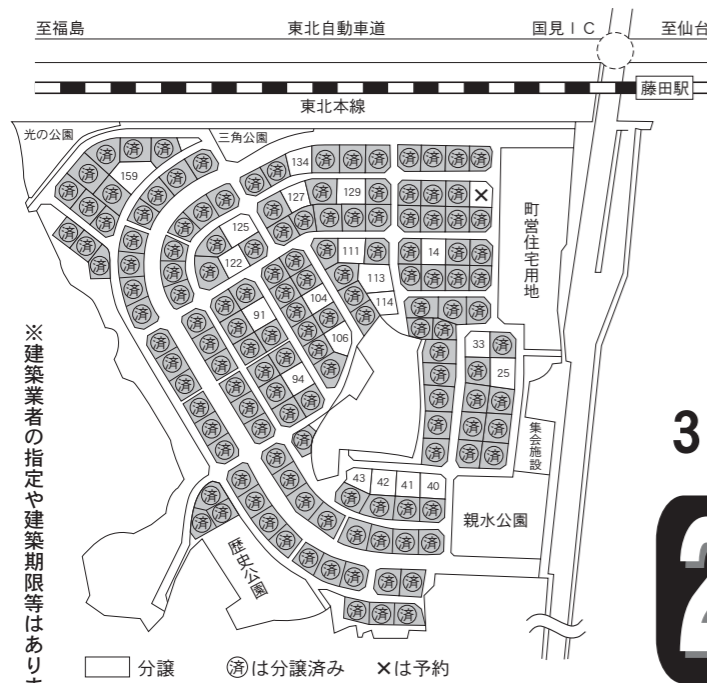


福島北警察署 藤田駐在所係員 鈴木 浩二 巡査長

山形県出身、前任は、双葉警察署浪江分庁舎勤務。前任の浪江分庁舎では、震災により被災された浪江の町民を無事に避難させることができました。国見の町民も守ってまいります。

# 国見ニュータウン

## 着実なる前進 安心确实の分譲地



交通の  
利便性と  
すぐれた  
立地条件!!

低価格  
!!

上下水道  
完備!!

3拍子揃った自慢の宅地!!

# 20区画分譲中

お問い合わせは

国見町企画情報課 ☎585-2927 kikaku@town.kunimi.fukushima.jp

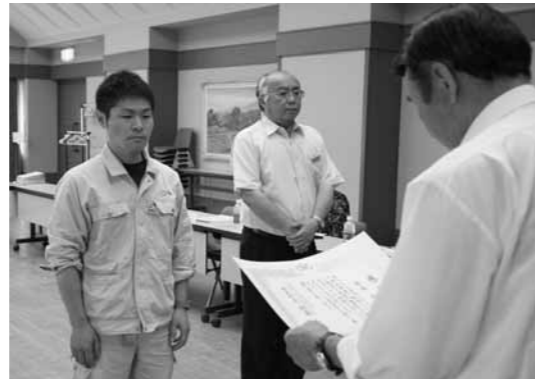
知らない人に声をかけられたら  
大枝小学校防犯教室



大枝小学校では6月1日、防犯教室を開きました。初めに、不審者が校舎に入ってきたという想定で全校生が安全に避難をする訓練をし、引き続き伊達警察署生活安全課の橋本悠子巡査長が、児童に対して不審者への対応について説明しました。

知らない人に声をかけられたときの5つのポイント「行かない」「乗らない」「大声を出す」「すぐに逃げる」「知らせる」を聞いた児童は、不審者への対応方法を学ぶことができました。

善意による愛の献血  
献血功労者に感謝状



町献血推進協議会の総会が6月9日、観月台文化センターで開催されました。総会では、町内での献血回数が30回以上の方2名と10回以上の方4名、献血事業に功労のあった2つの事業所に対して、佐藤町長より感謝状が手渡されました。

輸血の需要が増えていることで、血液の在庫が少なくなっているのが現状です。今年度も年間計画に基づき、献血を実施していきますので、町民の皆さまのご協力をお願いします。

みんなで楽しく子育て  
イキイキ子育てクラブが始まる



イキイキ子育てクラブの開所式が6月8日、19組の親子が参加して藤田保育所で開かれました。

開所式では、今年度の活動内容についての説明や活動を支援していく保育ボランティアの皆さんの紹介がありました。

イキイキ子育てクラブは、子育て中の親同士が交流や学習を重ねていく活動で、おやつ作りや絵本の読み聞かせなど、月2回の割合で楽しい活動をしていくこととなります。

60周年記念イベントを開催  
藤田病院で健康フェスタと講演会



公立藤田病院組合設立60周年記念イベントが6月4日、「復興支援チャリティイベント がんばろう福島！！」と題して公立藤田総合病院内で開かれました。会場には、血管年齢などの測定コーナーや各種の健康相談、子どもが楽しめるコーナーもあり多くの人々にぎわいました。また午後からは、「地域が守る医療」と題して丹波新聞社足立智和氏による特別講演や各種病気の予防に関する講演会が開かれました。

地元のおいしい農産物を販売  
藤田病院で野菜市を開催



公立藤田総合病院では、毎月第2・第4水曜日（午前11時30分～午後1時30分）に「がんばろう福島！水曜日」と題して職員玄関の外側で農産物の販売をしています。当初は、職員の福利厚生の一環として計画されたものですが、震災からの復興を応援しようと一般の方にも周知し、開催しています。

農産物は、JA伊達みらいの協力により、地元産の野菜や果物を中心に販売しており、新鮮で安価なものを買求める多くの人で賑わっていました。

短冊に願いを込めて  
子どもたちの笹飾りを展示



七夕を前に、子どもたちの短冊を吊るした笹飾りを飾る町内の商店があります。色とりどりの短冊には、町内の小学生の願いごとが書かれていますが、震災からの復興を願うものが多く、子どもたちの素直な気持ちが伝わってくるものばかりです。

下校途中、笹飾りのあるところで立ち止まり、友だちが書いた願い事を真剣に見ている子どもたちを多く見ることができました。

満開の桜が咲きますように  
桜ボランティアによる草刈り



桜ボランティアによる草刈り作業が6月5日、約40名の参加により森山地区の桜の森で行われました。刈払機や草刈カマを手にしたボランティアの人々は、広い桜の森に散らばり、場所によっては腰ほどまでの高さの草を刈りました。参加した人々は、今はまだ背丈の低い桜の木が、満開の花を咲かせることを願って作業をしていました。

草刈り作業は、毎年、草が生い茂ってくるこの時期に行われています。

東日本大震災被災者を支援  
黄色いポスト募金



日本郵政募金会では、東日本大震災による被災者支援のために全国の郵便局など約2万4千の店舗に黄色いポスト（募金箱）を設置しました。5月31日までの募金により、総額で約1億6千200万円の募金がありました。この度、被害の状況に応じて第一次分が送金されることとなりました。国見町には6月3日、福島県の北部地区を統括する大内悟栗野郵便局長と稲垣修治国見郵便局長が佐藤町長を訪れ、国見町への配分金15万円の目録を手渡しました。

## 手足口病

手足口病はウイルスの感染によって口の中や手足などに水疱性の発疹が出る感染症です。毎年、5歳以下の乳幼児を中心に、主に夏に発生し、7月下旬に流行のピークを迎えます。今後、夏に向けてさらに発生数が増加し、流行が大きくなっていくことが予想されますので、注意が必要です。

## 手足口病を予防するために

- ・手洗いを徹底しましょう。
- ・ウイルスの便への排出は、病状が回復しても3～4週間は続きますので注意しましょう。
- ・発症した場合は、水分補給などに心がけながら経過を注意深く観察し、高熱、頭痛、吐き気、意識障害などの症状が見られた場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

### \*\*\* ニコニコ相談会 \*\*\*

対象者	実施日	受付時間	会場
国見町在住の妊婦、 国見町在住の乳幼児及びその保護者	8月3日(水)	午前10時～ 午前11時30分	子育て支援センター (藤田保育所内)

【実施内容】身体計測、栄養相談、子育て相談等について保健師、栄養士がお待ちしております。  
 《持参するもの》母子健康手帳、お子さんの飲み物(水筒に入れて)を忘れずに!  
 《申し込み方法》前日まで保健福祉課または藤田保育所(☎585-2374)に電話でお申し込みください。

### \*\*\* 育児教室 \*\*\*

該当児	実施日	受付時間	会場
平成23年1月～2月生まれの乳児	8月2日(火)	午前9時30分～ 午前9時45分	観月台文化センター 第1和室

【実施内容】身長・体重測定、離乳食調理実習・試食、子育て相談など  
 《持参するもの》母子健康手帳、エプロン、おんぶひもを忘れずに!  
 ※状況により一部内容を変更する場合があります。

### \*\*\* 乳児健診 \*\*\*

該当児	実施日	受付時間	会場
・3か月児(平成23年4月生まれ) ・9か月児(平成22年10月生まれ)	8月25日(木)	午後1時15分～ 午後1時45分	観月台文化センター 第1和室

【健診内容】医師の指導、身長・体重測定、調乳、離乳、予防接種などについて  
 《持参するもの》母子健康手帳を忘れずに!

### \*\*\* 3歳児健診 \*\*\* ※会場が変更になります。

該当児	実施日	受付時間	会場
平成20年1月1日～ 平成20年3月31日生まれの幼児	8月4日(木)	午後1時15分～ 午後1時45分	森江野町民センター

【健診内容】  
 ・内科と歯科の医師の診察、生活保健指導、視力・聴力検査などを実施します。  
 ・心理判定員による相談・指導…子育てに関する不安や悩み等、お気軽にご相談ください。  
 ・健診該当者には後日健診票を郵送します。  
 《持参するもの》母子健康手帳を忘れずに!

## 検診で自分の健康をチェックしましょう!

総合検診が6月28～7月2日、7月4日～8日、11日～13日(延べ13日間)にわたって実施されます。検診前には各町内会の健康推進員さんから受診録等必要な物が配布されます。

なお、この度の震災により今年度の検診希望調査が実施できませんでしたので、受診録を配布するのあたり、昨年度の希望調査をベースに抽出、または検診によっては年齢で該当する方を抽出しています。

ただし、昨年度の希望に関わらず検診対象となる方は受診できませんので、受診録がお手元に届かない方は役場保健福祉課保健係(☎585-2783)までご連絡ください。

今年度より国見町国民健康保険加入の方が対象の特定健康診査、及び後期高齢者医療制度加入者が対象の健康診査について、受診者全員に心電図・眼底検査・貧血検査・クレアチニン(腎機能血液検査)を追加実施しますので、是非受診してください。

詳しくは、各戸に配布します、「平成23年度総合検診のお知らせ」をご覧ください。

### ● 県民健康管理調査 ●

福島第一原子力発電所の事故に伴う県民の健康不安の解消と長期にわたる健康管理の推進を図るため、福島県が主体となり全県民を対象に「県民健康管理調査」を実施することになりました。詳しくは、今後検討されることとなりますが、3月11日以降の行動についての質問が予定されていますので、「どこにどのくらい滞在していたか」程度でも記録を残しておかれようご協力をお願いします。

今後、詳しい内容が決まりましたら、情報を提供していく予定です。詳しくは福島県災害対策本部までお問い合わせください。

◆問い合わせ  
 福島県災害対策本部救援班  
 ☎521-1948

### 放射線に関する問い合わせ窓口

◆放射線に関する問い合わせ専用電話  
 024 - 521 - 8127  
 (受付時間 午前8時30分～午後9時まで)  
 なお、県以外の機関においても以下の問合せ窓口を開設しています。

◆健康相談ホットライン  
 (放射線に関する健康相談)  
 0120 - 755 - 199  
 (受付時間 午前9時～午後9時まで)

◆被ばく医療相談ホットライン  
 (具体的な除染方法などの相談)  
 043 - 290 - 4003  
 (受付時間 午前9時～午後9時まで)

### 「心の健康相談」のお知らせ

県北保健福祉事務所では、職場や地域社会・家庭の中でのストレス等の影響で、心の悩みを抱えている方が、専門の医師に相談する場として「心の健康相談」を実施しています。お気軽にご相談ください。

日程：平成23年7月26日(火)、8月25日(木) 13時30分～15時30分

場所：県北保健福祉事務所

申込み方法：予約制です。前日までに電話でお申込みください。

申込み、問合せ：県北保健福祉事務所 健康福祉部 障がい者支援チーム ☎534 - 4300

## 募 集

### 入国警備官採用試験

出入国管理行政の第一線で活躍する入国警備官を募集します。

▼受験資格 昭和63年4月2日から平成6年4月1日生まれの人

▼受付期限 8月2日(火)

▼試験日 第1次試験9月25日(日)、第2次試験10月18日(火)・19日(水)

▼合格発表 11月15日(火)

◆問い合わせ  
仙台入国管理局

☎022-256-6076

## お知らせ

### しあわせ金婚夫婦

福島県老人クラブ連合会と福島民報社では、今年中に金婚式を迎える夫婦

を表彰します。

▼該当する夫婦 昭和36年に結婚した夫婦及びそれ以前に結婚され届出をしていないため表彰を受けられていない夫婦

▼受付期間 7月20日(水)まで

▼申込み方法 国見町社会福祉協議会へ申込んでください。

◆問い合わせ  
国見町社会福祉協議会

☎585-3403

### はかりの定期検査

商店・工場・事業所等で「取引や証明行為」に使われているはかりは、計量法により2年に1回の定期検査を受けなければなりません。

▼集合検査 ひょう量が500kg以下の一般小型はかりが該当します。

▼所在場所検査 はかりの所在場所を実施します。検査には大型はかりや電気式はかりが該当します。事前調査をまだ受けて

いない方、定期検査についてわからないことがありましたら、7月11日(月)までお問い合わせください。

▼検査日 集合検査7月12日(火)、所在場所検査6月29日(水)、30日(木)

◆問い合わせ  
産業振興課産業振興係

☎585-2986  
公立藤田総合病院では、

### 第18回元氣セミナー

地域住民の皆様に向けて「元氣セミナー」を開催します。申込不要・無料のセミナーですので、お気軽にお越し下さい。

▼日時 7月28日(木)午後4時

▼場所 総合受付前ホール・シャングリラ

▼演題 たばこ病気  
▼講師 副院長 佐藤昌宏氏

◆問い合わせ

公立藤田総合病院地域医療連携室

☎585-2121

収入が少ないなどの理

### 農業委員会 7月の総会

7月に招集される町農業委員会の総会についてお知らせします。総会では、農地の賃貸借や売買、転用、農業行政への建議等を審議します。

総会は公開です。傍聴を希望される方は、開会時間までにおいでください。

・日時 7月22日(金)午後3時00分  
・場所 観月台文化センター 大研修室  
◆問い合わせ 農業委員会 ☎585-2890

◆問い合わせ 農業委員会 ☎585-2890

◆問い合わせ 農業委員会 ☎585-2890

◆問い合わせ 農業委員会 ☎585-2890

◆問い合わせ 農業委員会 ☎585-2890

◆問い合わせ 農業委員会 ☎585-2890

### 国民年金保険料の免除制度

由で国民年金の保険料を納められない方のために、免除制度や納付猶予制度があります。

免除には全額免除のほか、保険料の4分の3、2分の1、4分の1を納付すると残りの保険料が免除となる一部免除や30歳未満の方の若年者納付猶予制度があり、本人、配偶者、世帯主の各々の前年の所得等で審査されます。また、免除等を受けた過去の期間の保険料は、10年前までさかのぼって納めることもできます。

平成23年度分の免除等の申請受付は、7月からとなりますので、保険料の免除等を希望される方は、年金手帳、印鑑をお持ちのうえ役場保健福祉課で申請してください。

また、東日本大震災により被災された方に対して、住宅、家財、その他の財産について、おおむね2分の1以上の損害を受けられた方などは、申請に基づき国民年金保険料が全額免除となります。

◆問い合わせ

保健福祉課国保係  
☎585-2785

法務省人権擁護局と人

### 子どもの人権 110番強化週間

権擁護委員連合会は、6月27日から7月3日までの7日間、全国一斉「子どもの人権110番」強化週間として、いじめや嫌がらせ、虐待、体罰など子どもの抱える人権問題について、電話相談を実施します。相談は、人権擁護委員及び法務局職員が応じます。秘密は守られます。お気軽にご相談ください。

なお、強化週間の期間以外の日(土・日・祝日を除く)においても、午前8時30分から午後5時15分まで、相談に応じています

ので、ご利用ください。  
▼期間 6月27日(月)～7月3日(日)  
▼時間 午前8時30分～午後7時(7月2日及び3日は、午前10時～午後5時)  
▼電話番号 0120-007-1110  
◆問い合わせ  
福島地方法務局人権擁護課  
☎534-1994



## 7月の相談会

### 【心配ごと相談】

・開催日及び相談員  
14日(木) 村木 幹雄さん  
松浦 光子さん  
28日(木) 尖戸 加代さん  
後藤 信雄さん  
・場所 観月台文化センター 第2和室  
・時間 午前9時～正午

### 【障がい者相談】

・開催日 19日(火)  
・場所 観月台文化センター 保健指導室  
・時間 午前10時～午後4時  
・相談事業受託者 特定非営利法人 福島・伊達精神障害者福祉会「ひびきの会」

## 戸籍の窓口

5月1日～5月31日受付分

### 結婚おめでとう

鈴木 康寛さん (藤田光陽)  
実沢 聖心さん  
佐藤 知彦さん (前田)  
齋藤 由佳さん  
幕田 貴士さん (宮東)  
清水目麻里さん

### 誕生おめでとう

渡邊 睦美ちゃん (大町南)  
岳立さん 佳織さん  
佐藤 弘康ちゃん (徳江北)  
裕敬さん 真弓さん

### おくやみ申し上げます

平舘 米子さん 73 (大町南)  
大沼 敏子さん 86 (貝田)  
小林 トキさん 84 (原町)  
矢部 輝雄さん 67 (大坂)  
長谷川宗夫さん 60 (高城)  
佐藤 公彦さん 43 (宮町南)  
安藤與四郎さん 91 (泉田上)  
佐野 和雄さん 82 (板橋南)  
鴨田 茂さん 75 (宮町北)  
鈴木 カンさん 92 (川内)  
関 好高さん 52 (第7)  
本田 敏さん 88 (本町)  
徳江 正美さん 64 (第9)  
三木 重行さん 89 (山崎宮舘)  
鈴木 勇さん 99 (川内)  
齋藤林兵衛さん 86 (徳江北)

掲載を希望されない方は、届出の際にお申し出ください。

## 人口と世帯

平成23年5月31日現在  
人口 10,247人(△18)  
男 4,943人(△14)  
女 5,304人(△4)  
世帯 3,348世帯(1)

※広報紙では住民基本台帳人口を掲載します。

## 今月の納税 固定資産税(1期)

納期限は…

**6月30日(木)**です。

# 生涯学習 つうしん



国見町教育委員会生涯学習課  
 (観月台文化センター)  
 ☎(585)2676 FAX(585)2707  
 E-mail: shogai@town.kunimi.fukushima.jp  
 http://www.town.kunimi.fukushima.jp/kangetsudai/

## 学級生95名が参加 阿津賀志学級開講式

阿津賀志学級開講式を5月19日、観月台文化センター大研修室で開催しました。学級生95名が参加し、新入生5名に交通安全大学



交通安全大学証と学生証を受けとる新入生

証と学生証が佐藤町長より授与され、学級生の身心の健康と交通事故防止の学習を大きな目標にスタートしました。

開講式の後、第1回学習では、「大震災後の心の健康」をテーマに桜ヶ丘病院の郡司啓文先生の講演を聴きました。身心の不安を鎮めるためにはお茶やコーヒーなどは控えめにし、睡眠を十分とるようにする。寝酒は睡眠を浅くし、不眠を悪化させる。眠れないときは医師の診察を受け、薬を処方してもらうのが一番である。また、他人からの



講演をする郡司啓文先生

心配事には「うーん、そうなの」と受容してやることが一番であるなど、わかりやすくユーモラスな講演に、震災後の疲れや不安が薄れたように、学級生からは笑い声も聞かれました。

## 尽きることなき探究 心・向上心・女性教室

くにみ女性教室開講式を5月25日、観月台文化センター第一和室で開催し、教室生40名で学習をスタートしました。

全体学習は、こんにゃく作り、写経体験など全12回、グループ学習は、美容・つるし雛・手工芸・料理の学習を予定しています。また今年、未曾有の災害に遭い、このような時こそ、女性の力をどう発揮するべきかをテーマに、今年度はエコに目を向けてなど、懇談会や運営委員会でも積

極的に意見が出されてきました。今後も学んだことを、身近な生活や地域社会の中で活かし、健康でいきいきとした女性を目指します。



くにみ女性教室の皆さん

## 萬歳楽山ハイキング 成人学級

前夜の雨もうそのように朝から快晴となった6月3日、成人学級では健脚の14名が参加して、萬歳楽山のサラサドウダンを探勝しました。

頂上付近のサラサドウダンは咲き始めて、新緑の葉の下に赤みをおびたかわいらしい花を見つけて、参加者は歓声をあげていました。また、見晴らし台の展望もさわやかで、残雪を抱いた遠くの山々や満々と水を蓄えた摺上ダムを一望することができました。ドウダン



新緑の山を満喫した学級生

の花の下での弁当はおいしいもので、帰りは道沿いのワラビを採りながら、植物名をみんなで学習しながら下りてきました。放射線量が心配されるこの頃ですが、新緑の山の空気に元気のパワーをもらった一日となりました。

## スポーツ

## 町長杯スポーツ大会 出場者募集！！

震災の影響により延期していました平成23年度町長杯スポーツ大会を下記日程により開催します。奮ってご参加ください。

種目	期日・試合開始時間
軟式野球	7月17日(日) 8:00
家庭バレーボール	7月3日(日) 9:00
ソフトボール	7月31日(日) 9:00
テニス	7月10日(日) 9:00
グラウンドゴルフ	7月12日(火) 9:00
少年ソフトボール	7月9日(土)・10日(日) 9:00

- 【申込み】 所定の申込書により6月30日(木)まで(FAX可)
- 【表彰等】 入賞者に総合閉会式の日時を別途ご案内します。なお、総合閉会式は行いません。
- ◆大会要項・参加申込書は、観月台文化センター窓口で配布しています。
- ◆お申込み・お問い合わせ 生涯学習課文化スポーツ係 ☎585-2676

## 元卓球世界チャンピオン 山中教子先生による アープ身体運動講習会

国見町を元気にしよう、元卓球世界チャンピオン山中教子先生による「アープ身体運動」の講習会が開催されます。山中さんは、卓球から生まれた健康体操を考案、無理なく簡単に行える「アープ身体運動」の普及につとめています。

日時 6月26日(日)午後1時30分～  
 会場 観月台文化センター 体育館  
 ※どなたでも参加いただけますが、下記まで申し込みください。  
 主催 「国見を元気にするアープの会」  
 共催 国見町、国見町教育委員会  
 ◆お申込み・お問い合わせ  
 ☎585-1112 事務局 氏家

## 夏山登山を 楽しみましょう！

## 平成23年度町民登山 西吾妻山縦走 8月7日(日)

行程 天元台→西吾妻山→グランデコ  
 約5.7km(歩行時間4時間50分程度)  
 午前6時30分 集合・出発  
 午後6時00分 解散予定  
 募集人員 先着25名(登山中級程度)  
 ※町内在住又は在勤の方  
 参加料 お一人様5,500円  
 (ロープウェイ、リフト代など)  
 携行品 登山靴(スニーカー不可)、帽子、手袋  
 昼食、飲み物、雨具、タオルなど  
 お申込み 7月10日(日)午前9時～  
 ※お一人様2名まで受付、窓口のみ  
 ◆お申込み・お問い合わせ  
 生涯学習課文化スポーツ係 ☎585-2676

## 少年仲間づくり キャンプ

学校・学年を越えて仲間をつくろう。  
 日時 7月27日(水)～29日(金) 2泊3日  
 場所 猪苗代町 磐梯青少年交流の家  
 募集 町内の小学4年生～6年生 先着20名  
 募集締切 6月30日(木)  
 参加費 3,500円  
 ◆お申込み・お問い合わせ  
 生涯学習課社会教育係 ☎585-2676

## 行事のお知らせ

- 《7月》
- 3日(日) 町長杯スポーツ大会(家庭バレーボール)
  - 4日(月) 休館日
  - 5日(火) 子ども移動図書館(藤田小3年)
  - 6日(水) くにみ女性教室「研修旅行」  
子ども移動図書館(小坂小)
  - 7日(木) 子ども移動図書館(森江野小)
  - 8日(金) 子ども移動図書館(大枝小)
  - 9日(土) 町長杯スポーツ大会(少年ソフトボール①)
  - 10日(日) 町長杯スポーツ大会(少年ソフトボール②、テニス)
  - 11日(月) 子ども移動図書館(大木戸小)
  - 12日(火) 町長杯スポーツ大会(グラウンドゴルフ)  
阿津賀志学級「歴史講話」  
(観月台文化センター第一和室)  
子ども移動図書館(藤田小2年)
  - 14日(木) 子ども移動図書館(藤田小1年)
  - 15日(金) 成人学級「歴史講話」  
(小坂農村総合管理センター)
  - 17日(日) 町長杯スポーツ大会(軟式野球)  
家庭の日
  - 25日(月)～28日(木) 短期スイミングスクール
  - 26日(火) ブックスタート
  - 27日(水)～29日(金) 少年仲間づくり「キャンプ」
  - 31日(日) 町長杯スポーツ大会(ソフトボール)

## プール中止のお知らせ

例年7月中旬から開設していた上野台運動公園プールは、放射線の影響に配慮し今年度は中止することとしました。  
 皆さまのご理解をお願いいたします。

# 第3回 一人一人の高い防災意識



防災訓練の様子 写真提供：㈱大岩マシナリー

3月に発生した東日本大震災では、住宅や公共施設の被害が目立っていますが、町内の企業でも大きな被害がありました。その中の一つ、㈱大岩マシナリー国見事業所(主に建築設備や洗車機などの機材に使用される送風機を生産)における地震発生後の状況を紹介します。

「地震による長い揺れが続いた後、全員屋外に退避をして安全を確認しました。その後、日頃から訓練を重ねている防災隊を中心に工場の外側で、油や塗料、排水の漏れがないか確認をしました。この日は、天候も悪かったため、これ以上のことはできませんでした」国見事業所駒木所長は、地震発生当日の状況を振り返って話されました。

そして翌日、会社は休日でしたが、工場の状況が心配となった社員の人たちが大勢集まってくれました。「工場内には、地震により部品などが散乱していましたが、思った以上に被害は少なかったです。棚をアンカーボルトで固定するなど、日頃から防災に関しての備えがあったことが、大きな被害につながらなかったのだと思います。そして、社員の人たちが自主的に復旧作業をしてくれたので、比較的早い段階で工場を再開させることができました」駒木所長は、工場の復旧に大きく貢献した社員に対して感謝の気持ちを表していました。

社員が自ら動き、復旧の大きな力となった背景には、日頃からの防災訓練や災害への備えにより、社員一人一人に高い防災意識が備わっていることにあると取材から伝わってきました。

最後に駒木所長は、「福島の人々は粘り強い。みんなで助け合い、できるだけ早く復興に向け頑張りましょう」と話してくださいました。また、この度国見町では、㈱大岩マシナリーより震災復興のために多額の見舞金をいただきました。



▶町の特産品サクランボの収穫

## 小さな天才たち

森江野小学校



「王子」  
4年 佐藤 綾香



「月とたいよう」 2年 はっとりけんじ



「調理される前の野菜達」 6年 石川 翼

### あ と が き

今回特集しました「放射能」を取材するにあたり、事前にインターネットでさまざまなことを調べました。以前であれば、本を読まなければならぬものがすぐに調べることができ便利になりました。

インターネットを利用する人は、増えていると思います。ぜひ、全国広報コンクールで入選した国見町のホームページを見て、町の最新情報を手にとってみてください。(A.S.)